

## 小向小学校

### 「小さな学校には大きなハートがある」

深かった雪もようやくとけ、豊かな自然を実感する4月となりました。今年度、小向小学校は新生がおらず、3名という極めて少ない人数でのスタートとなりました。

しかしながら、新しい先生や公務補さん、新しいALTの先生を向かえ、子どもたちは新たな刺激を受け学校生活を過ごしています。学年が1つ上がり、学習内容も難しくなりましたが、毎日の授業に加え、家庭学習にも力を入れ学校の授業に臨んでいます。

今年度は5・6年生が一人もいませんが、ALTの先生に来てもらう機会を得て、外国の文化にふれ英語に親しむ時間を昨年引き続き設けています。今年度



は昨年のマーク先生からジャッキー先生へとALTの先生も変わり、今はまだ戸惑いを見せる子どもたちですが、すぐに親しみを持ちジャッキー先生との学習を楽しみにすることでしょう。

また、豊かな自然に囲まれたこの学校では、これからの季節は自然を学ぶ学習にはことかきません。すでに子どもたちは休み時間には外に出て、いろいろな春の息吹を発見しています。

小向小学校は常に地域の方々が温かい目で見守ってくださり、学校の教育活動にも多大なご協力をいただいています。



今年度、小向小学校は110周年を迎えます。まさに地域の学校として110年の時を刻んできた小向小学校です。「小さな学校には大きなハートがある」をスローガンに、110年の伝統を受け継ぎ、未来へとつなぐ小向の子どもたちをこれからも温かい目で見守ってほしいと思います。

## 上渚滑小学校

### <地域の学校として>

今年度、上渚滑小学校は創立して115年を迎えます。全校児童数は13名です。児童数は少なくなりましたが、毎日元気の良い声が聞こえてきます。それぞれが進級して、「がんばるぞ!」という気持ちがあががえます。

本校では、「畑の先生(地域のお年寄りの方)」と一緒に農作物を栽培して、『収穫祭』を行っています。昨年は9月26日に行い、畑の先生や保護者の皆さんを招待しました。



当日は、グループごとに立てた調理計画に沿って、さつまいもを使ったスイートポテトやミルク煮などの料理を作りました。

この活動を通して、地域の方々との交流を大切にしていきたいと考えています。

また、本校では夏期・冬期の休業あけに休み中に作った作品や、自由研究の発表会を行っています。

この発表会の目的は、子ども達に人の前で自分の考えを発表できる力をつけさせることをねらって行っています。当日は進行も子ども達が行います。



発表もクラスごとにグループを組んで、お互いの手助けをします。発表している子どもの作品を、グループの仲間が実物投影機を用いてテレビ画面に映したり、工作の遊び方の実演を手伝ったりします。

この会には保護者の方にもご参観いただき、発表の仕方や司会の進行のようすなどに対する感想を書いていただきます。少人数化の進む中、今後は地域の皆さんをご招待するなどの工夫も必要かと考えています。

その他、運動会を保育所と合同で行ったり、地域の皆さんにもご参観を呼びかけるなど、地域の学校として教育活動を進めています。